

東証プライム 4229

群栄化学工業株式会社

2026年3月期第2四半期 決算説明資料

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry



- P 3 : 会社概要・事業内容
- P 6 : 2026年3月期第2四半期 決算概要
- P 1 1 : 2026年3月期 業績予想
- P 1 4 : GCIグループ中期経営方針2030 進捗
- P 1 9 : Appendix

会社概要・事業内容

企業理念 化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、より豊かな未来社会創りに貢献する

- 社名 : 群栄化学工業株式会社
- 本社所在地 : 群馬県高崎市宿大類町700番地
- 代表者 : 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎
- 上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場
- 資本金 : 50億円
- 従業員数 : 537人
- 国内拠点 : 群馬県、東京都、大阪府、滋賀県、岩手県
- 海外拠点 : タイ、インド、アメリカ、ドイツ



事業内容

化学品事業



フェノール樹脂 他



フェノール樹脂繊維
(カインール)

食品事業



でんぷん糖類

電子材料

フォトリソ用樹脂
【半導体・ディスプレイ向け】

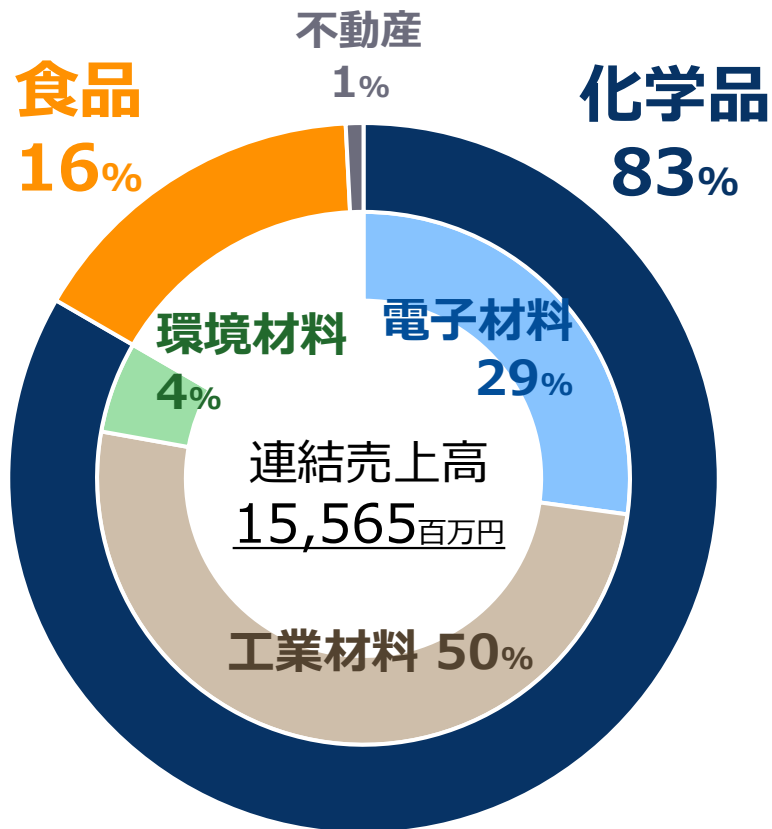
環境材料

活性炭・防護/耐火用繊維
【溶剤回収・航空宇宙向け】

異性化糖・水あめ・穀物糖化液
【清涼飲料・菓子・調味料・酒類・植物性ミルク向け】

工業材料

鋳型・摩擦材・成形材・断熱材用樹脂
【自動車・建設機械・工作機械・住宅設備向け】



2026年3月期第2四半期 決算概要

2026年3月期第2四半期 業績サマリー

- 売上高：溶剤回収向けカイノールおよび、でんぷん糖類は低調に推移するも、半導体向け樹脂、自動車関連向け樹脂が堅調に推移し増収
- 営業利益：半導体向け樹脂の販売増加、採算是正およびコストダウンが寄与し増益

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減率 (百万円)
売上高	15,182	15,565	+ 2.5%
化学品	12,376	13,008	+ 5.1%
食品	2,684	2,432	▲ 9.4%
不動産	122	123	+ 1.0%
営業利益	1,235	1,398	+ 13.2%
化学品	1,046	1,204	+ 15.0%
食品	110	114	+ 3.7%
不動産	78	80	+ 2.2%
経常利益	1,436	1,510	+ 5.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	987	973	▲ 1.4%

売上高要因

+3.8億円

販売数量増加 ➡

販売単価増加 ➡

売上原価要因

▲1.1億円

原材料使用量増加 ➡

原材料単価増加 ➡

製造固定費増加 ➡

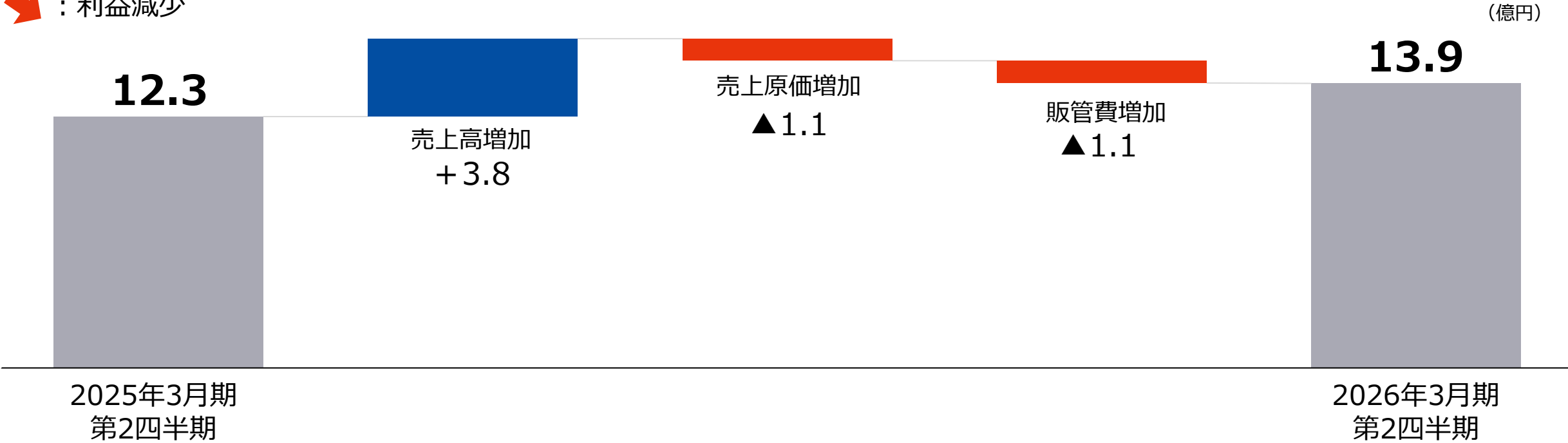
販管費要因

▲1.1億円

運送費増加 ➡

経費増加 ➡

➡ : 利益増加
➡ : 利益減少



用途		販売数量 前期比	販売動向	主な取り組み
化学品	電子材料 ➡	半導体 ➡	AI需要により先端向けは想定以上に増加 レガシー向けについても堅調	電材新工場試験運転開始 半導体後工程材料の開発、拡販強化
		ディスプレイ ➡	液晶向けは低調継続 有機EL向けは前期並みに堅調	
	工業材料 ➡	自動車 ➡	前期の生産停止の影響から回復し増加	環境対応製品の開発、拡販強化 海外子会社「インディアGCI」 新工場建設決定
		機械 ➡	工作機械向けは海外を中心に増加 建設機械向けは前期並み	
		住宅設備 ➡	住宅向けは減少、非住宅向けが堅調	
	環境材料 ➡	溶剤回収 ➡	中国経済悪化の影響が継続し低調	新規用途開発 品質、生産性改善
		航空宇宙 ➡	防衛予算の増加を受けた前期並みに堅調	
	食品 ➡	清涼飲料 菓子 ➡	商品構成の見直しにより引き続き低調	一部製品の採算是正強化 原料変更によるコストダウン
		酒類 ➡	一部製品終売により低調	

2026年3月期第2四半期 連結貸借対照表

- 資産 : 設備投資による有形固定資産の増加等
- 負債 : 設備投資による設備関係未払金の支払い等
- 純資産 : 中間純利益計上による利益剰余金の増加等

	2025年3月期 期末	2026年3月期 第2四半期末	増減
資産	63,018	64,115	+ 1,096
流動資産	25,285	24,721	▲ 564
固定資産	37,732	39,393	+ 1,661
負債	11,287	10,596	▲ 690
流動負債	8,438	7,085	▲ 1,353
固定負債	2,848	3,511	+ 663
純資産	51,731	53,518	+ 1,787
自己資本	49,745	51,621	+ 1,876
負債・純資産合計	63,018	64,115	+ 1,096
自己資本比率	78.9%	80.5%	+ 1.6pt

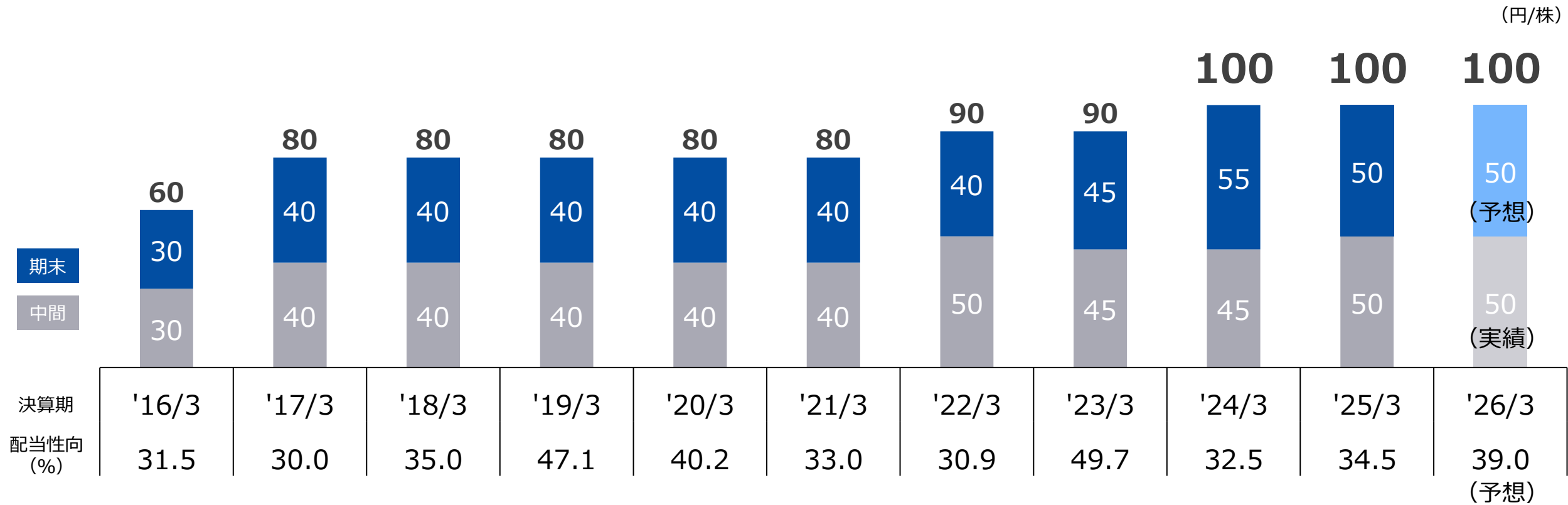
2026年3月期 業績予想

上期は業績予想を上回るも、通期業績予想は据え置き

- 上期は半導体向け、自動車向け樹脂が想定以上に増加
- 液晶向け樹脂や溶剤回収向けカイノールの減少等から、下期は増益幅の縮小を見込む

	2025年3月期	2026年3月期 予想	増減率
			(百万円)
売上高	30,545	31,000	+ 1.5%
営業利益	2,293	2,300	+ 0.3%
経常利益	2,716	2,500	▲ 8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,920	1,700	▲ 11.5%

- 配当方針：1株当たりの配当の向上に努め、配当性向 40% を目安とした、安定的な配当を目指す
- 2025年3月期配当 100円
中間：50円（実績）、期末：50円（実績）
- 2026年3月期配当 100円
中間：50円（実績）、期末：50円（予想）



GCIグループ中期経営方針2030 進捗について

ありたい姿

化学の力でグローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献する “Green Chemical Industry(GCI)” となる

基本方針

- ◆事業ポートフォリオの再構築
- ◆マーケティングによる事業領域の拡大
- ◆生産性向上、収益力強化
- ◆持続的成長を支える人材の育成、エンゲージメント向上

4つの目指す方向性

高純度・先端材料	環境対応ケミカル	新事業創出	経営基盤強化
競争優位性の獲得	Greenを中心とした次なる新事業へ（第2の柱）		リソースの最大活用
<div>・次世代半導体関連製品のマーケティング・開発力の強化</div> <div>・高純度・高品質なモノづくりのための生産技術体制構築</div>	<div>・吸脱着機能の追求と用途展開</div> <div>・事業を通じた地球環境への貢献</div>	<div>・糖ケミカルによるGreenマテリアルの開発</div> <div>・マーケティング強化による新事業創出</div>	<div>・既存/海外事業戦略見直しによる収益最大化</div> <div>・サステナビリティを巡る課題解決（人材育成・デジタル化・CO₂削減）</div>

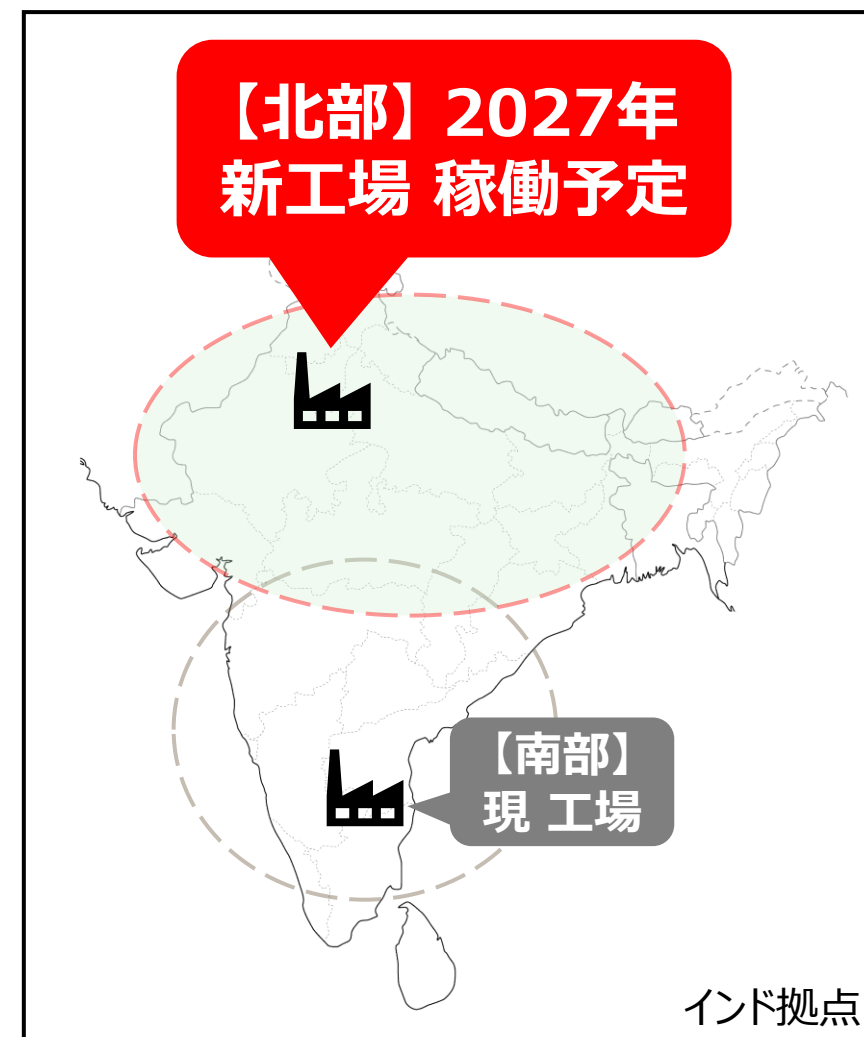
	主な方策	具体的な取り組み	※Topics
高純度・ 先端材料	次世代半導体関連製品の マーケティング・開発力の強化 高純度・高品質なモノづくりのための 生産技術体制構築	電材新工場、試験運転実施・増設予定前倒し※ （本格稼働：'25年度下期 → '26年度中） 先端半導体周辺/後工程材料の開発強化	
環境対応 ケミカル	吸脱着機能の追求と用途展開 事業を通じた地球環境への貢献	溶剤回収向けカイノールの性能向上 環境配慮型製品の開発強化	
新事業創出	糖ケミカルによるGreenマテリアルの開発 マーケティング強化による新事業創出	高崎市と共同開発した新商品の上市、展示会出展 糖誘導体原料の多用途展開強化	
経営基盤 強化	既存/海外事業戦略見直し による収益最大化 サステナビリティを巡る課題解決 （人材育成・デジタル化・CO ₂ 削減）	インドアGCIの製造拠点拡大（2拠点化）※ 子育てサポート企業として、「くるみん認定」を取得 群馬県製造業異業種共創プロジェクトに参画 人事制度改善、デジタル化推進	

➤ 高成長市場インドにおける製造拠点拡大





【事業内容】 RCS（Resin Coated Sand）の製造・販売

- ・ 2012年 インディアGCI設立（南部/タミルナドゥ州）
- ・ 2023年 工場移転 及び 設備増設（同州）
- ・ 2027年 **新工場 稼働予定（北部/ラジャスタン州）**
～ 投資予定額：約15億円 ～



南北2拠点体制とし、高品質RCSの安定供給強化へ

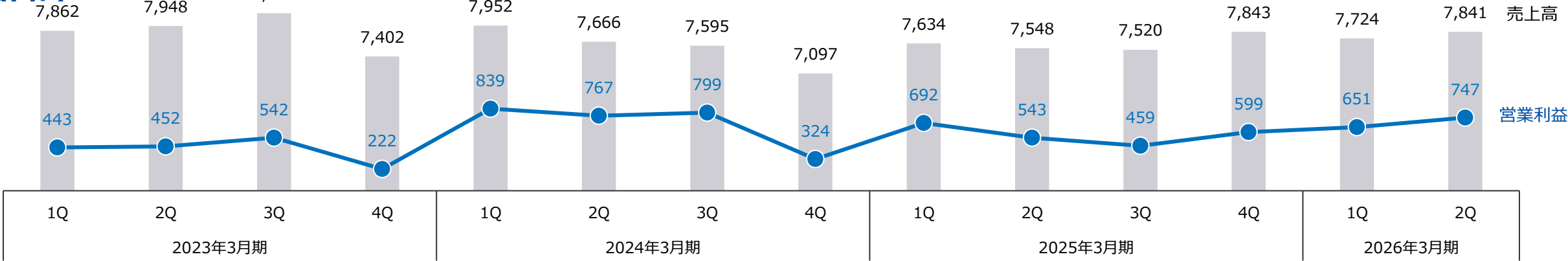
用途	案件	'24	'25	'26	'27
電子材料	製造設備増設 投資額：約10億円 完成	需要増加により高稼働を維持 稼働中			
	新工場建設 投資額：約35億円 ➡ 約45億円	工事・認証		稼働	
		当初予定見直し AI市場の急成長を背景に増設予定を前倒し（本稼働'26年度へ）			
環境材料	製造設備増設 投資額：約16億円 完成	工事・認証		稼働	
		'25下期稼働開始			
工業材料	今期投資決定 インド新工場建設 投資額：約15億円			工事・認証	稼働

Appendix

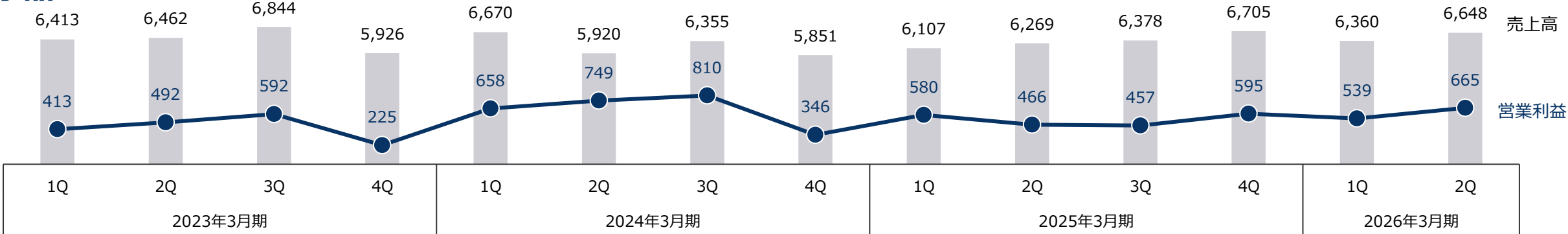
四半期業績推移

連結合計

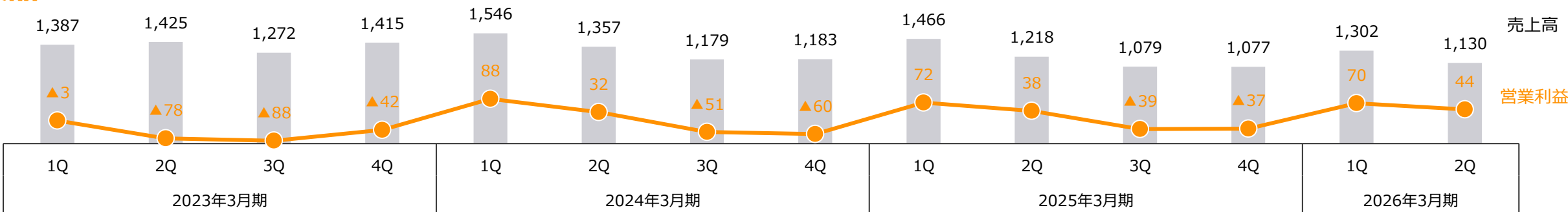
(百万円)



化学品



食品



群馬県高崎市

本社・技術開発センター

群馬工場

(化学品・食品製造)

高崎支店



グループ会社

株式会社ビッグトレーディング

(派遣・業務請負)

滋賀県湖南市

滋賀工場

(化学品製造)



岩手県北上市

グループ会社

東北ユーロイド工業株式会社

(化学品製造・受託製造)



東京支店

大阪支店



主な経営指標等の推移

【 連結 】						
回次 決算年月		第104期 2021年3月	第105期 2022年3月	第106期 2023年3月	第107期 2024年3月	第108期 2025年3月
売上高	(百万円)	25,194	29,406	31,390	30,310	30,545
経常利益	(百万円)	2,451	2,815	1,939	3,162	2,716
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,607	1,929	1,201	2,040	1,920
包括利益	(百万円)	2,602	1,826	1,838	4,856	2,230
純資産額	(百万円)	43,750	44,899	46,107	50,281	51,731
総資産額	(百万円)	51,984	54,680	54,600	61,010	63,018
1株当たり 純資産額	(円)	6,367.01	6,550.74	6,723.36	7,320.51	7,499.57
1株当たり 当期純利益金額	(円)	242.06	291.13	181.26	307.83	289.60
自己資本比率	(%)	81.2	79.4	81.6	79.5	78.9
自己資本利益率	(%)	3.9	4.5	2.7	4.4	3.9
株価収益率	(倍)	10.5	10.3	14.3	12.5	10.8

＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて判断したものであり、
将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818（代表）